

広島県地域福祉支援計画





広島県地域福祉支援計画の 策定に当たって



人口減少や少子高齢化が進展し、人々のライフスタイルが多様化したことにより、家族関係の変化や、地域のつながりの希薄化など、社会構造が大きく変化してきました。

一方で、近年、社会的な孤立、ダブルケア、8050問題、ひきこもり、孤立死といった複合的な課題や、制度の狭間の課題など、福祉に関する課題が複雑化し、これまでの福祉制度では対応できない状況にあり、これらの課題に対応するためには、住民同士の支え合いと、地域で課題を解決する力が求められています。

このような中、平成30年7月に豪雨災害を経験し、住民同士のつながりや地域での支え合いの大切さが再認識されるとともに、地域コミュニティの力が再評価されました。

私たちは、こうした社会構造や状況の変化を踏まえた、支え合いの仕組みの構築や、地域コミュニティの再生について考えていく必要があります。

本計画では、「県民誰もが住み慣れた地域でつながり、生きがいや役割を持ち、助け合いながら生き生きと暮らしていくことのできる地域共生社会の実現」を目指して、まずは多様な主体との協働による支える側の裾野の拡大と、課題を抱える住民を漏らさず受け止める体制の構築により、支え合いを進めるための土壌と仕組みづくりに取り組むこととしております。

地域共生社会は、市町、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、企業などのさまざまな主体、そして何より県民の皆様の御理解と御協力があってこそ実現するものと確信しております。

一緒に、「多様性を認め合い 支え合いながら 自分らしく活躍できる 安心と活気あふれる 共生のまち 広島県」を実現していきましょう。

令和2年(2020)年4月

広島県知事 湯崎 英彦

目次

第1章 広島県地域福祉支援計画の概要

1 計画の策定趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画期間	2
4 計画のマネジメント	2

第2章 基本理念・目指す姿

1 基本理念	3
2 個別施策ごとの目指す姿	3
3 目指す姿の実現に向けた方策	3
4 注視する指標	5

第3章 地域福祉推進に向けた現状

1 日本社会の変化	6
2 地域福祉に関する現状	6
3 地域福祉政策の動向	8
4 本県の現状	9

第4章 支え合いを進めるための土壌と仕組みづくり

◇問題の構造化と解決策の仮説	26
◇計画の施策体系	28
1 重層的なセーフティネットの構築	29
(1) 多様な主体による支え合いづくり	29
(2) 地域支え合いネットワークの構築	34
2 地域共生社会の実現に向けた推進体制	40
(1) 推進組織の設置	40
(2) 市町の取組に対する県の支援	40

第5章 地域福祉を推進するための諸施策

1 見守り合い・支え合いの推進	41
(1) 地域の見守り活動の推進	43
(2) 民生委員・児童委員の確保	44
(3) 地域の担い手の養成	44
(4) 住民の学習機会の充実	44
(5) 学校教育における福祉教育の推進	44
2 共に支え合う地域づくりの推進	45
(1) 避難行動要支援者対策の推進	48
(2) 外国人の生活支援の充実	48
(3) 矯正施設退所者の地域定着支援	49
(4) 社会福祉法人による地域公益活動の促進	49
3 権利擁護の推進	51

資料編

1 用語解説	53
2 広島県地域福祉支援計画の策定に係る検討経過	57
3 広島県地域福祉支援計画策定委員会 委員名簿	58
4 広島県地域福祉支援計画策定に係る座談会 構成団体	59
5 広島県地域福祉支援計画策定委員会設置要綱	60
6 社会福祉法（昭和26年法律第45号）（抄）	62